

大気浮遊じんの放射能濃度測定結果

問合せ 生活環境課 ☎24-5231

ちりやほこりに付着した放射性物質の飛散状況を調べるため、市内10地点で収集した大気1m³あたりの放射性物質の濃度を測定しました。

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)	
		7/8~7/15	7/15~7/22
小高区	川房公会堂 (川房)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.11
	金房小学校 (飯崎)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.037
	塚原公会堂 (塚原)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.029
原町区	横川ダム (馬場)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.17
	原町保健センター (小川町)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.019
	高平生涯学習センター (下高平)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.025
	市立総合病院 (高見町)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.020
	大原公会堂 (大原)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.054

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)	
		7/8~7/15	7/15~7/22
鹿島区	鹿島区役所 (西町)	セシウム134	不検出
		セシウム137	不検出
	鹿島区3-3消防屯所 (南海老)	セシウム134	不検出
		セシウム137	不検出

※検出限界値はおおむね0.02~0.03mBq/m³の範囲にありますが、測定サンプル毎に変動します。そのため、データの記載がない日は、放射能濃度が検出限界値未満の値であり「放射能不検出」と判定されます。

● 渡邊正己京都大学名誉教授
(市放射線健康対策委員会委員長)による解説●

市内の大気浮遊じん中のセシウム137濃度は、平均0.07mBq/m³と極めて低い濃度であり、健康影響について心配はいりません。ところで、8月4日に大阪府知事が、うがい薬のポビドンヨード成分は新型コロナウイルスの症状に効果があるとの発言があり、店頭商品が品切れ続出との情報に、またかと悲しくなりました。ポビドンヨードは1950年代に開発された病原性の細菌やウイルスを不活化する殺菌・殺ウイルス剤でうがい薬にも汎用されており、コロナウイルス対策にも一定の効果があると考えられます。しかし、ポビドンヨード入りのうがい薬も一回のうがいにはわずかしつか使わないので、過剰な買占めはせず、マスクや消毒液と共にみんなの手に届くようにしたいものです。